

電磁波の可視化によるメタサーフェスの開発支援

B5G・6G用電磁波制御デバイス開発における課題を解決します！

開発期間短縮とコストダウンに貢献します！

メタサーフェス開発における課題

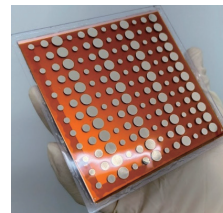
シミュレーション通りのものを作ったのに狙った特性が出ない

現実に忠実なシミュレーションを行おうとすると高額なオプションが必要

フリースペース法のような遠方界評価だけでは現象を正確に理解できるか不安

可視化評価の活用により、これらの課題が解決できます！

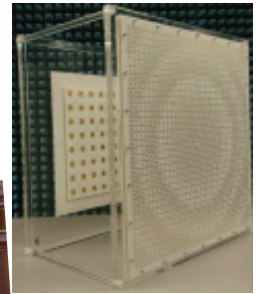
メタサーフェス
基板表面のメタルパターンの設計により、
反射・吸収・屈折などの機能発現が可能



反射板



電波吸収シート

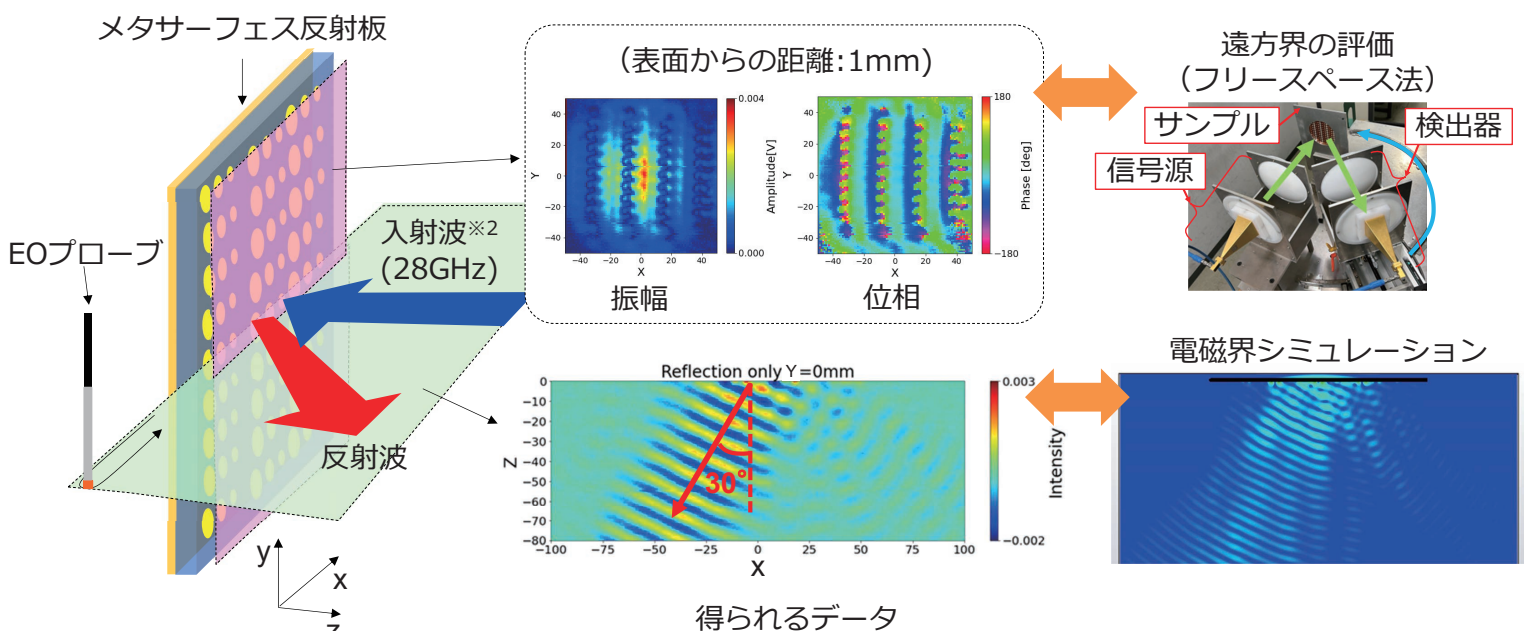


アンテナ+
メタレンズ※1

※1 IEEE Transactions on Antennas and Propagation, vol. 68, no. 3, pp. 1366-1377(2020)

可視化評価のメリット

- 電磁界シミュレーションと同じ電界マッピングが得られるため、シミュレーションと実測の相違点が一目瞭然です
- サンプル近傍の電界マッピングにより、不良部位の特定が可能です
- 実際に試作したサンプルの形状や物性を反映したデータが簡単に得られます
(大規模なシミュレーションは不要です)



可視化評価の測定イメージ
(入射波:28GHz平面波,空間解像度:1mm)

※2 28GHz以外の周波数も対応可能です(応相談)